

科目名	専門演習			担当教員：加藤 久美子	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 11	火曜日・木曜日 7 限

1. 授業の概要

基礎看護学特論 I と基礎看護学特論 II，基礎看護学分野における研究の動向を踏まえ，学生のテーマに沿って研究を進めるための方法を指導する。研究課題を明確にし，国内外の論文のクリティークを重ねて，よりテーマを明らかにし，適切な研究方法を検討し，倫理的配慮などについて指導し，研究計画書を作成する。

研究領域は看護カウンセリング，看護師－患者関係と看護の質の変化，対話関係と看護，ターミナルケアに関することなど基礎看護学分野の研究として，質的研究を主に指導する。

2. 到達目標

- 1) 修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。
- 2) 研究テーマを決定し，研究方法を選定し，研究計画書を作成する。
- 3) 倫理的配慮の必要性について理解し，倫理審査申請書を作成し，倫理審査会に研究計画書を提出する。

3. 授業の計画と内容

- | | |
|--------|-----------------------------------|
| 第 1 週 | 修士論文とは，修士論文作成のプロセス |
| 第 2 週 | テーマ設定－1 研究動機の確認 |
| 第 3 週 | テーマ設定－2 研究目的の明確化 |
| 第 4 週 | テーマ設定－3 研究目的の表し方 |
| 第 5 週 | 文献検索と文献のクリティーク－1 文献検索の方法 |
| 第 6 週 | 文献－クリティーク－2 文献を読むとは |
| 第 7 週 | 文献のクリティーク－3 自分の研究領域を文献で明らかにするプロセス |
| 第 8 週 | 研究デザイン－1 研究デザインの概要 |
| 第 9 週 | 研究デザイン－2 研究方法の検討－1 質的研究の方法 |
| 第 10 週 | 研究デザイン－3 質的研究の方法－2 |
| 第 11 週 | 研究計画書の作成 ① 倫理的配慮 |
| 第 12 週 | 研究計画書の作成 ② |
| 第 13 週 | 研究計画書の作成 ③ |
| 第 14 週 | 研究計画書のプレゼンテーション |
| 第 15 週 | 研究計画書の修正とまとめ |

4. テキスト・参考文献

看護研究方法論で使用したテキスト：「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院
「APA 論文作成マニュアル」APA 江藤裕之他訳 医学書院

Lyn Richards：小林奈美訳，初めて学ぶ質的研究，医歯薬出版。

斉木クレイグヒル滋子：グランデッド・セオリー・アプローチ，新曜社。

Anselm Strauss：操 華子訳，質的研究の基礎，医学書院

Rand corporation:

Quality of Care for cardiopulmonary condition: a review of the Literature and Quality indicators.

Helen j Streubert: Qualitative Research in Nursing: Advancing the Humanistic imperative.

5. 準備学習： その時点での研究課題の提出

6. 成績評価の方法

- | | |
|---|---------|
| 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） | 50 点 |
| 研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） | 50 点 |
| 合計 | 100 点満点 |

7. 履修の条件：看護研究方法論（1 前），基礎看護学特論 I（1 前），基礎看護学特論 II（1 後）を履修済，あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：名城 一枝	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 12	月曜日・木曜日 7 限

1. 授業の概要

基礎看護学特論Ⅰと基礎看護学特論Ⅱ，基礎看護学分野における研究の動向を踏まえ，学生のテーマに沿って研究を進めるための方法を指導する。国内外の論文のクリティークを重ねて，研究課題を明確にし，適切な研究方法を検討し，研究動機，研究の背景，文献検討，研究目的，研究デザイン，研究方法，倫理的配慮などについて指導する。研究計画書の作成を個別的に指導する。

基礎看護学を研究領域とし，主として健康行動に関する調査研究について指導する。

2. 到達目標

- 1) 修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる
- 2) 研究テーマを決定し，研究方法を選定し，研究計画書を作成する
- 3) 倫理的配慮の必要性について理解し，倫理審査申請書を作成し，倫理審査会に研究計画書を提出する。

3. 授業の計画と内容

- | | |
|--------|--------------------------|
| 第 1 週 | 修士論文とは，修士論文作成のプロセス |
| 第 2 週 | テーマ設定-1 |
| 第 3 週 | テーマ設定-2 |
| 第 4 週 | テーマ設定-3 |
| 第 5 週 | 文献検索と文献のクリティーク-1 |
| 第 6 週 | 文献のクリティーク-2 |
| 第 7 週 | 文献のクリティーク-3 |
| 第 8 週 | 研究デザイン-1 研究デザインの概要 |
| 第 9 週 | 研究デザイン-2 研究方法の検討-1 |
| 第 10 週 | 研究デザイン-3 研究方法の検討-2 |
| 第 11 週 | 研究デザイン-4 研究方法の検討・倫理的配慮-3 |
| 第 12 週 | 研究計画書の作成 ① |
| 第 13 週 | 研究計画書の作成 ② |
| 第 14 週 | 研究計画書の作成 ③ |
| 第 15 週 | 研究計画書の発表とまとめ |

4. テキスト・参考文献

看護研究方法論で使用したテキスト：「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院
「APA 論文作成マニュアル」APA 江藤裕之他訳 医学書院

Rand corporation:

Quality of Care for cardiopulmonary condition: a review of the Literature and Quality indicators.

Helen j Streubert: Qualitative Research in Nursing: Advancing the Humanistic imperative.

5. 準備学習： 研究課題の提出

6. 成績評価の方法

- ・研究課題の内容（評価視点：研究領域の文献検索と文献分析の整合性，研究目的の明確化）30点
 - ・研究計画書の作成（評価視点：研究目的と方法の整合性と妥当性，倫理的配慮の記載など研究計画書）70点
- 合計 100 点満点

7. 履修の条件：看護研究方法論（1 前），基礎看護学特論Ⅰ（1 前），基礎看護学特論Ⅱ（1 後）を履修済，あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する

科目名	専門演習			担当教員：金城 祥教	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	研 409	月曜日・木曜日 7 限

1. 授業の概要

看護学教育特論Ⅰと看護学教育特論Ⅱ，看護学教育分野における研究の動向を踏まえ，学生の関心あるテーマに即した研究を進めるための方法を指導する。国内外の論文のクリティークを重ねて，研究課題を絞り込み，適切な研究方法を検討し，研究の背景，文献検討，研究目的，研究デザイン，具体的な研究方法，倫理的配慮などを指導し，研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた個別指導をする。

研究領域としては，看護学校や臨床の現場を基盤とした看護教育技法に関する研究方法を探求する。主としてカード図解法やアクションリサーチ，KJ法などの質的研究手法を使った研究指導を行う。

2. 到達目標

- ① 修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。
- ② 研究テーマの選定，絞り込み，研究デザインの選定，具体的な研究方法について理解し，研究計画書が作成できる。
- ③ 倫理的判断の必要性について理解し，倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- | | |
|--------|-----------------------|
| 第 1 週 | 修士論文とは，修士論文作成のプロセス |
| 第 2 週 | テーマ設定と関連文献の検索 |
| 第 3 週 | 文献検索と文献検討 ① |
| 第 4 週 | 文献検索と文献検討 ② |
| 第 5 週 | 研究デザインとは，研究デザイン構築に向けて |
| 第 6 週 | 研究デザインの構築 ① |
| 第 7 週 | 研究デザインの構築 ② |
| 第 8 週 | 研究デザインの構築 ③ |
| 第 9 週 | 質的研究手法の理解 ① |
| 第 10 週 | 質的研究手法の理解 ② |
| 第 11 週 | 研究計画書の作成 ① |
| 第 12 週 | 研究計画書の作成 ② |
| 第 13 週 | 研究計画書の作成 ③ |
| 第 14 週 | 研究計画書作成の実施 ① |
| 第 15 週 | 研究計画書作成の実施およびまとめ |

- ### 4. テキスト
- ① 舟島なをみ 看護教育学研究—発見・創造・証明の過程 医学書院
 - ② Aneslm Strauss Juliet corbin 操華子・森岡崇訳 質的研究の基礎 グランデッド・セオリー 開発技法と手順 医学書院

参考文献：

- ① 箕浦康子篇著 フィールドワークの技法と実際 マイクロ・エスノグラフィー入門 ミネルバ書房
- ② Janice M,Roper Jill Shapira 麻原きみよ・グレッグ美鈴訳 エスノグラフィー日本看護協会出版会
「Competency-Based Nursing Education: Guide to Achieving Outstanding Learner Outcomes」
Marion G., Ph.D., RN Anema, Jan, Ph.D., RN McCoy (著) Springer Pub Co
「Pathways to a Nursing Education Career: Educating the Next Generation of Nurses」
Judith A. Halstead (著), Betsy Frank (著) Springer Pub Co

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

- | | |
|---|---------|
| 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） | 50 点 |
| 研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） | 50 点 |
| 合計 | 100 点満点 |

7. 履修の条件：看護研究方法論（1前），看護学教育特論Ⅰ（1前），看護学教育特論Ⅱ（1後）を履修済，あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：清水 かおり	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 6	月曜日・木曜日 7限

1. 授業の概要

看護学教育特論Ⅰと看護学教育特論Ⅱ，看護学教育分野における研究の動向を踏まえ，学生の関心あるテーマに即した研究を進めるための方法を指導する。国内外の論文のクリティークを重ねて，研究課題を絞り込み，適切な研究方法を検討し，研究の背景，文献検討，研究目的，研究デザイン，具体的な研究方法，倫理的配慮などを指導し，研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた個別指導をする。

研究領域としては，院内教育の方法と評価，高齢者・成人教育方法論，成人教育技法を基盤としたアクションリサーチ，関連図，マインドマップ，マンダラート，KJ法などの質的研究手法を使った研究指導を行う。

2. 到達目標

- ①修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。
- ②研究テーマの選定，絞り込み，研究デザインの選定，具体的な研究方法について理解し，研究計画書が作成できる。
- ③倫理的判断の必要性について理解し，倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- | | |
|------|-----------------------|
| 第1週 | 修士論文とは，修士論文作成のプロセス |
| 第2週 | テーマ設定と関連文献の検索 |
| 第3週 | 文献検索と文献検討 ① |
| 第4週 | 文献検索と文献検討 ② |
| 第5週 | 研究デザインとは，研究デザイン構築に向けて |
| 第6週 | 研究デザインの構築 ① |
| 第7週 | 研究デザインの構築 ② |
| 第8週 | 研究デザインの構築 ③ |
| 第9週 | 質的研究手法の理解 ① |
| 第10週 | 質的研究手法の理解 ② |
| 第11週 | 研究計画書の作成 ① |
| 第12週 | 研究計画書の作成 ② |
| 第13週 | 研究計画書の作成 ③ |
| 第14週 | 研究計画書作成の実施 ① |
| 第15週 | 研究計画書作成の実施およびまとめ |

4. テキスト・参考文献

看護研究方法論で使用したテキスト：「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院

「APA論文作成マニュアル」APA 江藤裕之他訳 医学書院

「ヘルスケアに生かすアクションリサーチ」岡本玲子他訳 医学書院

「考具」加藤昌治著 阪急コミュニケーションズ

「Competency-Based Nursing Education: Guide to Achieving Outstanding Learner Outcomes」

Marion G., Ph.D., RN Anema, Jan, Ph.D., RN McCoy (著) Springer Pub Co

「Pathways to a Nursing Education Career: Educating the Next Generation of Nurses」

Judith A. Halstead (著), Betsy Frank (著) Springer Pub Co

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

- | | |
|---|--------|
| 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） | 50点 |
| 研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） | 50点 |
| 合計 | 100点満点 |

7. 履修の条件：看護研究方法論（1前），看護学教育特論Ⅰ（1前），看護学教育特論Ⅱ（1後）を履修済，あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：稲垣 絹代	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 1	月曜日・木曜日 7限

1. 授業の概要

地域在宅看護学特論Ⅰと地域在宅看護学特論Ⅱ，地域在宅看護学分野における研究の動向を踏まえ，学生の関心あるテーマに即した研究を進めるための方法を指導する。国内外の論文のクリティークを重ねて，研究課題を絞り込み，適切な研究方法を検討し，研究の背景，文献検討，研究目的，研究デザイン，具体的な研究方法，倫理的配慮などを指導し，研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた方法による指導をする。

研究分野としては，地域や在宅の認知症に関連する研究や貧困や公衆衛生看護に関連する研究である。フィールドワーク，エピソード記述，エスノグラフィーを活用する研究方法を主体に指導を進める。

2. 到達目標

修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。

研究テーマの選定，絞り込み，研究デザインの選定，具体的な研究方法について理解し，研究計画書が作成できる。倫理的判断の必要性について理解し，倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- 第1週 修士論文とは，修士論文作成のプロセス
- 第2週 テーマ設定と関連文献の検索
- 第3週 文献検索と文献検討 ①
- 第4週 文献検索と文献検討 ②
- 第5週 研究デザイン構築
- 第6週 質的研究法の理解 ①
- 第7週 質的研究法の理解 ②
- 第8週 質的研究法の理解 ③
- 第9週 統計学的手法の理解 ①
- 第10週 統計学的手法の理解 ②
- 第11週 研究計画書の作成 ①
- 第12週 研究計画書の作成 ②
- 第13週 研究計画書の作成 ③
- 第14週 倫理審査申請書の作成 ①
- 第15週 倫理審査申請書の作成 ②

4. テキスト・参考文献

「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院

Joanna Latimer (2003) : Advanced Qualitative Research for Nursing, Blackwell Publishing

「エピソード記述入門」 鯨岡俊 東京大学出版会

「グランデッドセオリーアプローチ」 才木クレイグヒル滋子 新曜社

「フィールドワークの技法」 佐藤郁也 新曜社

Younger, J.B. (1995). : The Alienation of the Sufferer. Advances in Nursing Science, 17(4), 53-72

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

- 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） 50点
- 研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） 50点
- 合計 100点満点

7. 履修の条件：看護研究方法論（1前），地域在宅看護学特論Ⅰ（1前），地域在宅看護学特論Ⅱ（1後）を履修済，あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：武藤 稲子	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研5	月曜日・木曜日 7限
<p>1. 授業の概要</p> <p>地域在宅看護学特論Ⅱの講義や、地域在宅看護学分野の研究の動向を踏まえ、国内外の論文のクリティークを重ねて、研究課題を絞り込み、適切な研究方法を検討し、研究の背景、文献検討、研究目的、研究デザイン、具体的な研究方法、倫理的配慮などを指導し、研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた方法による指導をする。</p> <p>特に、在日外国人の健康問題などのテーマに関する指導を主に行い、質的、量的研究方法論により指導する。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>①修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。</p> <p>②研究テーマの選定、絞り込み、研究デザインの選定、具体的な研究方法について理解し、研究計画書が作成できる。</p> <p>③倫理的判断の必要性について理解し、倫理審査申請書が作成できる。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <p>第1週 修士論文とは、修士論文作成のプロセス</p> <p>第2週 テーマ設定と関連文献の検索</p> <p>第3週 文献検索と文献検討 ①</p> <p>第4週 文献検索と文献検討 ②</p> <p>第5週 研究デザイン構築</p> <p>第6週 質的研究法の理解 ①</p> <p>第7週 質的研究法の理解 ②</p> <p>第8週 質的研究法の理解 ③</p> <p>第9週 統計学的手法の理解 ①</p> <p>第10週 統計学的手法の理解 ②</p> <p>第11週 研究計画書の作成 ①</p> <p>第12週 研究計画書の作成 ②</p> <p>第13週 研究計画書の作成 ③</p> <p>第14週 倫理審査申請書の作成 ①</p> <p>第15週 倫理審査申請書の作成 ②</p> <p>4. テキスト・参考文献</p> <p>「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院</p> <p>「APA 論文作成マニュアル」APA 江藤裕之他訳 医学書</p> <p>「レイニンガー看護論—文化ケアの多様性と普遍性 (単行本)」マデリン M.レイニンガー著、稲岡文昭翻訳、医学書院</p> <p>Younger,J.B.(1995). : The Alienation of the Sufferer. Advances in Nursing Science,17(4),53-72</p> <p>5. 準備学習： 課題の提出</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <p>課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） 50点</p> <p>研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載）50点</p> <p>合計 100点満点</p> <p>7. 履修の条件：看護研究方法論（1前），地域在宅看護学特論Ⅰ（1前），地域在宅看護学特論Ⅱ（1後）を履修済，あるいは履修中であること。</p> <p>8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する。</p>					

科目名	専門演習			担当教員：大城 凌子	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 13	月曜日・木曜日 7限

1. 授業の概要

地域在宅看護学特論Ⅱの講義や、地域在宅看護学分野の研究の動向を踏まえ、国内外の論文のクリティークを重ねて、研究課題を絞り込み、適切な研究方法を検討し、研究の背景、文献検討、研究目的、研究デザイン、具体的な研究方法、倫理的配慮などを指導し、研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた方法による指導をする。

研究分野としては、沖縄における文化を活かした高齢者への援助や看取り、住民の健康増進活動や参加する学生への教育などのテーマに関する指導を主に行い、アクションリサーチや質的、量的研究方法論を指導する。

2. 到達目標

- ①修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。
- ②研究テーマの選定、絞込み、研究デザインの選定、具体的な研究方法について理解し、研究計画書が作成できる。
- ③倫理的判断の必要性について理解し、倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- | | |
|--------|--------------------|
| 第 1 週 | 修士論文とは、修士論文作成のプロセス |
| 第 2 週 | テーマ設定と関連文献の検索 |
| 第 3 週 | 文献検索と文献検討 ① |
| 第 4 週 | 文献検索と文献検討 ② |
| 第 5 週 | 研究デザイン構築 |
| 第 6 週 | 質的研究法の理解 ① |
| 第 7 週 | 質的研究法の理解 ② |
| 第 8 週 | 質的研究法の理解 ③ |
| 第 9 週 | 統計学的手法の理解 ① |
| 第 10 週 | 統計学的手法の理解 ② |
| 第 11 週 | 研究計画書の作成 ① |
| 第 12 週 | 研究計画書の作成 ② |
| 第 13 週 | 研究計画書の作成 ③ |
| 第 14 週 | 倫理審査申請書の作成 ① |
| 第 15 週 | 倫理審査申請書の作成 ② |

4. テキスト・参考文献

「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院

「APA 論文作成マニュアル」 APA 江藤裕之他訳 医学書

「フィールドワークの技法」 佐藤郁也 新曜社

Younger,J.B.(1995). : The Alienation of the Sufferer. Advances in Nursing Science,17(4),53-72

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

- | | |
|---|---------|
| 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） | 50 点 |
| 研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） | 50 点 |
| 合計 | 100 点満点 |

7. 履修の条件：看護研究方法論（1前）、地域在宅看護学特論Ⅰ（1前）、地域在宅看護学特論Ⅱ（1後）を履修済、あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり、特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：比嘉 憲枝	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 14	月曜日・木曜日 7 限

1. 授業の概要

地域在宅看護学特論Ⅱの講義や、地域在宅看護学分野の研究の動向を踏まえ、国内外の論文のクリティークを重ねて、研究課題を絞り込み、適切な研究方法を検討し、研究の背景、文献検討、研究目的、研究デザイン、具体的な研究方法、倫理的配慮などを指導し、研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた方法による指導をする。

研究分野としては、島嶼、過疎地域における健康課題や遠隔看護などのテーマについて、質的、量的研究方法論により指導する。

2. 到達目標

- ①修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。
- ②島嶼、過疎地域における健康課題や遠隔看護に関連した研究テーマの選定、絞り込み、研究デザインの選定、具体的な研究方法について理解し、研究計画書が作成できる。
- ③倫理的判断の必要性について理解し、倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- | | |
|--------|---------------------------|
| 第 1 週 | 修士論文とは、修士論文作成のプロセス |
| 第 2 週 | 島嶼、過疎地域の地区踏査を行いつつテーマ設定を行う |
| 第 3 週 | 文献検索と文献検討 ① |
| 第 4 週 | 文献検索と文献検討 ② |
| 第 5 週 | 研究デザイン構築 |
| 第 6 週 | 質的研究法の理解 ① |
| 第 7 週 | 質的研究法の理解 ② |
| 第 8 週 | 質的研究法の理解 ③ |
| 第 9 週 | 統計学的手法の理解 ① |
| 第 10 週 | 統計学的手法の理解 ② |
| 第 11 週 | 研究計画書の作成 ① |
| 第 12 週 | 研究計画書の作成 ② |
| 第 13 週 | 研究計画書の作成 ③ |
| 第 14 週 | 倫理審査申請書の作成 ① |
| 第 15 週 | 倫理審査申請書の作成 ② |

4. テキスト・参考文献

- 「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院
「APA 論文作成マニュアル」 APA 江藤裕之他訳 医学書
Younger,J.B.(1995). : The Alienation of the Sufferer. Advances in Nursing Science,17(4),53-72

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

- 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） 50 点
研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） 50 点
合計 100 点満点

7. 履修の条件：看護研究方法論（1前），地域在宅看護学特論Ⅰ（1前），地域在宅看護学特論Ⅱ（1後）を履修済，あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：金城 利雄	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	研 405	月曜日・木曜日 7限

1. 授業の概要：

高齢者リハビリテーション看護学分野の研究の動向を踏まえ、学生の関心あるテーマに即した国内外の論文のクリティークを重ねて、研究課題を絞り込み、適切な研究方法を検討し、研究の背景、文献検討、研究目的、研究デザイン、具体的な研究方法、倫理的配慮などを指導し、研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた個別指導をする。研究分野としては、高齢者の摂食・嚥下障害に関する看護方法や家族支援である。研究手法は、調査研究法や面接法及び観察法など、学生の研究テーマに即した量的・質的研究方法を指導する。

2. 到達目標：

修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる。

研究テーマの選定、絞り込み、研究デザインの選定、具体的な研究方法について理解し、研究計画書が作成できる。

倫理的判断の必要性について理解し、倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- 第 1 週 修士論文とは、修士論文作成のプロセス
- 第 2 週 テーマ設定と関連文献の検索
- 第 3 週 文献検索と文献検討 ①
- 第 4 週 文献検索と文献検討 ②
- 第 5 週 研究デザインとは、研究デザイン構築に向けて
- 第 6 週 研究デザインの構築 ①
- 第 7 週 研究デザインの構築 ②
- 第 8 週 研究デザインの構築 ③
- 第 9 週 統計学的手法の理解 ①
- 第 10 週 統計学的手法の理解 ②
- 第 11 週 研究計画書の作成 ①
- 第 12 週 研究計画書の作成 ②
- 第 13 週 研究計画書の作成 ③
- 第 14 週 研究計画書作成の実施 ①
- 第 15 週 研究計画書作成の実施およびまとめ

4. テキスト：看護研究方法論で使用したテキスト

Denise F.Polit ,Cheyyl Tatano Beck :Nursing Research : principles and Methods the 7 edition , Lippincott Williams &Wilkins

Denise F.Polit ,Cheyyl Tatano Beck Nursing Research: Generating and Assessing Evidence for Nursing Practice the 8 edition Wolters Kluwer Health/ Lippincott Williams &Wilkins

「APA 論文作成マニュアル」APA 江藤裕之他訳 医学書院

参考文献：適宜紹介する。

5. 準備学習：課題の提出

6. 成績評価の方法：

レポート 50点 (評価視点：テーマとの整合性、論理的な文章構成)

研究計画書の作成 50点 (評価視点：計画書の内容、研究方法の妥当性、倫理性への配慮の記載)

合計 100点満点

7. 履修の条件：看護研究方法論 (1 前)、高齢者リハビリテーション看護学特論 I (1 前)、高齢者リハビリテーション看護学特論 II (1 後) を履修済、あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり、特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：永田 美和子	
科目名（英語）	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録予定人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 16	火曜日・金曜日 7限

1. 授業の概要：
高齢者リハビリテーション看護学分野の研究の動向を踏まえ、学生の関心あるテーマに即した国内外の論文のクリティークを重ねて、研究課題を絞り込み、適切な研究方法を検討し、研究の背景、文献検討、研究目的、研究デザイン、具体的な研究方法、倫理的配慮などを指導し、研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた個別指導をする。
研究分野としては、高齢者の運動支援の方法や認知機能の変化に対応した看護支援である。研究手法は、調査研究や面接法など、学生の研究テーマに即した量的・質的研究方法を指導する。

2. 到達目標：
①修士論文の意義について理解し、研究のプロセスを理解できる。
②テーマに即した、研究目的、研究デザイン、研究方法、倫理的課題が理解できる。
③テーマに即した、研究計画書を作成できる。

3. 授業の計画と内容

第 1 週 修士論文とは、修士論文作成のプロセス
第 2 週 テーマ設定と関連文献の検索
第 3 週 文献検索と文献検討 ①
第 4 週 文献検索と文献検討 ②
第 5 週 研究デザインとは、研究デザイン構築に向けて
第 6 週 研究デザインの構築 ①
第 7 週 研究デザインの構築 ②
第 8 週 研究デザインの構築 ③
第 9 週 統計学的手法の理解 ①
第 10 週 統計学的手法の理解 ②
第 11 週 研究計画書の作成 ①
第 12 週 研究計画書の作成 ②
第 13 週 研究計画書の作成 ③
第 14 週 研究計画書作成の実施 ①
第 15 週 研究計画書作成の実施およびまとめ

4. テキスト：看護研究方法論で使用したテキスト
「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院
「APA 論文作成マニュアル」 APA 江藤裕之他訳 医学書院
参考文献：concept development in nursing , Beth L.Rodgers,Kathleen A.knafl

5. 準備学習：
授業内容に該当するテキスト、資料を講読する。文献クリティーク、研究計画書の作成などの課題の提出をする。

6. 成績評価の方法：
レポート 50点（評価視点：テーマとの整合性、論理的な文章構成）
研究計画書の作成 50点（評価視点：計画書の内容、研究方法の妥当性、倫理性への配慮の記載）
合計 100点満点

7. 履修の条件：看護研究方法論（1前）、高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅰ（1前）、高齢者リハビリテーション看護学特論Ⅱ（1後）を履修済、あるいは履修中であること。

8. その他：自分のテーマに関係する文献のクリティークを積極的に行い、先行研究の理解、自分の意見・見解のプレゼンテーションの準備を十分に行うこと。

科目名	専門演習			担当教員：仲村 美津枝	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
2	1	後期	1～2	看研 19	火曜日・木曜日 7限

1. 授業の概要

母性看護学分野における研究の動向を踏まえ、学生の関心あるテーマに即した研究方法を指導する。国内外の論文のクリティークを重ねて、研究課題を絞り込み、適切な研究方法を検討し、研究の背景、文献検討、研究目的、研究デザイン、具体的な研究方法、倫理的配慮などを指導し、研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた個別指導をする。

研究分野は、妊産褥婦に関する研究として、母乳・授乳に関する研究、低出生体重児に関する研究、家族計画実態調査からの研究等である。思春期の研究として性教育、月経に関する研究を行う。また、沖縄県の産育風習の歴史的研究も行う。研究技法として主に、質問紙法による量的調査研究を指導するが、調査内容によっては、ヒアリングを用いた半構造化による質的研究を指導する。

2. 到達目標

修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解できる

研究テーマの選定、絞り込み、研究デザインの選定、具体的な研究方法について理解し、研究計画書が作成できる
倫理的判断の必要性について理解し、倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- 第 1 週 修士論文とは、修士論文作成のプロセス
- 第 2 週 テーマ設定と関連文献の検索
- 第 3 週 文献検索と文献検討 ①
- 第 4 週 文献検索と文献検討 ②
- 第 5 週 研究デザインとは、研究デザイン構築に向けて
- 第 6 週 研究デザインの構築 ①
- 第 7 週 研究デザインの構築 ②
- 第 8 週 研究デザインの構築 ③
- 第 9 週 統計学的手法の理解 ①
- 第 10 週 統計学的手法の理解 ②
- 第 11 週 研究計画書の作成 ①
- 第 12 週 研究計画書の作成 ②
- 第 13 週 研究計画書の作成 ③
- 第 14 週 研究計画書作成の実施 ①
- 第 15 週 研究計画書作成の実施およびまとめ

4. テキスト・参考文献

「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院

「APA 論文作成マニュアル」 APA 江藤裕之他訳 医学書院

Moos RH : The development of a menstrual distress questionnaire, Psychosom Med, 30 (6), 853-867, 1968.

Man MS, MacMillan I, Scott J, Young AH :Mood, neuropsychological function and cognitions in premenstrual dysphoric disorder. Psychol Med. 29(3),727-33. 1999.

Yokoyama Y, Ueda T, Irahara M, et al: Releases of oxytocin and prolactin during breast massage and sucking in puerperal women ,European Journal of Obstetrics &Gynecology Reproductive Biology, 53,17-20,1994.

Ueda M,Tokunaga M: Effects of exercise experienced in the life stages on climacteric symptoms for females.J Physiol Anthropol,19(4),181-189,2000.

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

課題の内容（評価視点：テーマとの整合性、論理的な文章構成） 50点

研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容、研究方法の妥当性、倫理性への配慮の記載） 50点

合計 100 点満点

7. 履修の条件：看護研究方法論（1 前）、母性看護学特論 I（1 前）、母性看護学特論 II（1 後）を履修済、あるいは履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり、特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：小西 清美	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研7	火曜日・木曜日7限

1. 授業の概要

女性の各ライフステージの性と生殖に関する健康問題から、院生の興味・関心あるテーマを選択させ、論文の研究の進め方を指導する。国内外の文献検索・文献検討をして、研究課題を明らかにさせる。研究過程を概観させ、研究の背景、文献検討、研究目的、研究デザイン、倫理的配慮などを指導し、適切な研究方法を検討し、研究計画書を作成させる。また、研究計画が実施可能か、試験的に実施し、研究計画書を完成させる。1年次で研究計画書が作成できるよう個別指導をする。

2. 到達目標

- ・女性の各ライフステージの性と生殖に関する健康問題の文献講読をして、研究課題が明確化できる。
- ・研究課題に関して、科学的方法での研究プロセスを理解できる。
- ・研究テーマや研究デザインの選定、研究計画書が作成できる。
- ・人を対象とした場合、倫理的配慮ができる。

3. 授業の計画と内容

- 第 1 週 修士論文の研究に取り組む前に
- 第 2 週 国内外の文献検索・文献検討 (1)
- 第 3 週 国内外の文献検索・文献検討 (2)
- 第 4 週 国内外の文献検索・文献検討 (3)
- 第 5 週 研究過程の概観
- 第 6 週 研究デザインの種類と選定 (1)
- 第 7 週 研究デザインの種類と選定 (2)
- 第 8 週 研究デザインの種類と選定 (3)
- 第 9 週 統計学的手法の理解 (1)
- 第 10 週 統計学的手法の理解 (2)
- 第 11 週 統計学的手法の理解 (3)
- 第 12 週 研究計画書の立て方 (1)
- 第 13 週 研究計画書の作成
- 第 14 週 研究計画書の試験的实施
- 第 15 週 研究計画書の完成

4. テキスト：「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院

「APA 論文作成マニュアル」APA 江藤裕之他訳 医学書院

参考文献：「看護研究ガイドブック」、川口孝泰, 医学書院

Moos RH: The development of a menstrual distress questionnaire, Psychosom Med, 30 (6), 853-867, 1968.

Man MS, MacMillan I, Scott J, Young AH :Mood, neuropsychological function and cognitions in premenstrual dysphoric disorder. Psychol Med. 29(3),727-33. 1999.

Yokoyama Y, Ueda T, Irahara M, et al: Releases of oxytocin and prolactin during breast massage and sucking in puerperal women ,European Journal of Obstetrics &Gynecology Reproductive Biology, 53,17-20,1994.

Ueda M,Tokunaga M: Effects of exercise experienced in the life stages on climacteric symptoms for females.J Physiol Anthropol,19(4),181-189,2000.

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

- 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） 50点
- 研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） 50点
- 合計 100点満点

7. 履修の条件：看護研究方法論（1前），母性看護学特論Ⅰ（1前），母性看護学特論Ⅱ（1後）を履修済，あるいは履修中であること。

8. その他：研究計画を立案し，さらに特別研究の授業では計画に沿って実施できるようにする。

授業科目名	専門演習			担当教員：金城 やす子	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 10	月曜日・木曜日 7限

1. 授業の概要

小児看護学特論Ⅰと小児看護学特論Ⅱ，小児看護学分野における研究の動向を踏まえ，学生の関心あるテーマに即した研究を進めるための方法を指導する。国内外の論文のクリティークを重ねて，研究課題を絞り込み，適切な研究方法を検討し，研究の背景，文献検討，研究目的，研究デザイン，具体的な研究方法，倫理的配慮などを指導し，研究計画書の作成までを1年次で行えるよう学生の研究経験に合わせた個別指導をする。

研究分野としては，入院児の生活環境の向上や子どもの生活リズムに関する研究，特に医療保育専門士の活動やチャイルドライフスペシャリストによる子どもの精神的な支援，小児がん患児とその家族への支援である。研究手法は調査研究を主体に指導をすすめる。また調査内容によっては，フィールドワークやヒアリングを用いた研究方法による質的研究を指導する。

2. 到達目標

- ①論文読解能力を高め，多様な研究方法を理解する
- ②小児看護学分野における研究課題を発見し，小児看護の向上と発展にどのように貢献できるか検討する
- ③修士論文作成に向けた研究のプロセスを理解し，研究テーマの選定，絞り込み，研究デザインの選定，具体的な研究方法について理解する
- ④研究課題に基づき，研究計画書を作成する一連の過程を通して，一貫性，整合性のある研究計画書の作成手順を学ぶ
- ⑤倫理的判断の必要性を理解し，倫理審査申請書が作成できる。

3. 授業の計画と内容

- | | |
|--------|---|
| 第 1 週 | 専門演習の授業目的，内容，方法について概説する。修士論文作成プロセスについて概説する |
| 第 2 週 | 看護研究をすすめる上で必要となる基礎的知識や論文講読に必要な手法，文献検討による課題探求法について概説する |
| 第 3 週 | 文献検索と文献検討に向けて概説する |
| 第 4 週 | 文献検索と文献検討の実際 |
| 第 5 週 | 文献講読① |
| 第 6 週 | 文献講読② |
| 第 7 週 | 研究デザインとは，研究デザイン構築に向けて概説する |
| 第 8 週 | 研究デザインの構築（教員による講義およびプレゼンテーションとディスカッション） |
| 第 9 週 | 統計学的手法の理解 調査研究のデータ処理および統計解析の方法について概説する |
| 第 10 週 | 統計学的手法の理解 研究課題に関する量的研究方法を用いた文献講読 |
| 第 11 週 | 研究計画書の作成 研究計画書の作成について概説する |
| 第 12 週 | 研究計画書の作成 各自の研究課題に関する研究計画作成と研究の進め方について検討する |
| 第 13 週 | 研究計画書の作成 各自の研究課題に関する研究計画を検討する |
| 第 14 週 | 研究計画書作成の実施 ① 研究計画書の作成にあたり，倫理審査受審について概説する |
| 第 15 週 | 研究計画書作成の実施およびまとめ（研究課題に関する倫理的配慮のポイントの検討） |

4. テキスト・参考文献

看護研究方法論で使用したテキスト：「看護研究 原理と方法」 監訳 近藤潤子 医学書院
「APA 論文作成マニュアル」APA 江藤裕之他訳 医学書院
文献講読（Brad j. Zebrack & Mark A. Chesler(2002) Quality of Life in Childhood Cancer-survivors, *Psycho-Oncology*, 11, 132-141.）第5, 6週の講読資料

5. 準備学習： 課題の提出

6. 成績評価の方法

- | | |
|---|--------|
| 課題の内容（評価視点：テーマとの整合性，論理的な文章構成） | 50点 |
| 研究計画書の作成（評価視点：計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載） | 50点 |
| 合計 | 100点満点 |

7. 履修の条件：看護研究方法論，小児看護学特論Ⅰ，小児看護学特論Ⅱを履修済，または履修中であること。

8. その他：修士論文作成の重要な科目であり，特別研究に継続する。

科目名	専門演習			担当教員：鈴木 啓子									
科目名(英語)	Seminar in Nursing												
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー								
4	1	後期	1～2	看研 17	火曜日・金曜日 7限								
<p>1. 授業の概要</p> <p>精神看護学特論Ⅰと精神看護学特論Ⅱ，精神看護学分野における研究の動向を踏まえ，学生自身が関心あるテーマに即した研究を進めるための方法について学習する。国内外の論文のクリティークを重ねて，研究課題を絞り込み，適切な研究方法を検討し，研究の背景，文献検討，研究目的，研究デザイン，具体的な研究方法，倫理的配慮などについて学び，研究計画書を作成する。そのプロセスにおいて，適切なフィールドの選定，倫理的配慮，看護実践記録やフィールドの十分な記録，適切な分析方法等を検討する。自己の研究課題や研究方法の追及過程については，演習授業において発表し，討議を行う。</p> <p>2. 到達目標</p> <p>①論文読解能力を高め，多様な研究方法を理解する。 ②精神看護領域における研究課題を発見し，精神看護の向上と発展にどのように貢献できるかを検討する。 ③研究課題に関して適切な研究デザインならびに研究方法を選択する。 ④研究課題にもとづき，研究計画書を作成する一連の過程を通して，一貫性・整合性のある研究計画書の作成手順を学ぶ。 ⑤倫理審査申請書の作成を通して，研究における倫理的感性を高める。</p> <p>3. 授業の計画と内容</p> <p>第 1 週 専門演習の授業目的，内容，方法について概説する 第 2 週 看護研究，文献検索・講読に関する学術用語および基礎的知識，文献検討による課題の探求方法について概説する 第 3 週 文献検索および文献入手を図書館にて行った結果を報告し検討する 第 4 週 前半(教員による講義)研究デザインについて概説する① 後半(プレゼンテーションとディスカッション)授業目標に沿い，講読した精神看護研究に用いられている学術用語，研究方法，研究内容等について学習した内容をプレゼンテーションし，研究の概念枠組みと研究方法論について討論する 第 5 週 前半(教員による講義)研究デザイン構築に向けて概説する① 後半(プレゼンテーションとディスカッション)授業目標に沿い，講読した精神看護研究に用いられている学術用語，研究方法，研究内容等について学習した内容をプレゼンテーションし，研究の概念枠組みと研究方法論について討論する 第 6 週 前半(教員による講義)研究デザインの構築について概説する② 後半(プレゼンテーションとディスカッション)授業目標に沿い，講読した精神看護研究に用いられている学術用語，研究方法，研究内容等について学習した内容をプレゼンテーションし，研究の概念枠組みと研究方法論について討論する 第 7 週 質的研究方法について概説する 第 8 週 前半(教員による講義)質的研究方法で用いられるアプローチについて概説する 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する文献の中で質的研究方法を用いた文献における研究法について検討する 第 9 週 統計的手法について概説する① 第 10 週 前半(教員による講義)統計学的手法について概説する② 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する文献の中で量的研究方法を用いた文献における研究法について検討する 第 11 週 前半(教員による講義)研究計画書の作成について概説する ① 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する研究計画について検討する 第 12 週 前半(教員による講義)研究計画書の作成について概説する ② 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する研究計画について検討する 第 13 週 前半(教員による講義)研究計画書の作成について概説する ③ 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する研究計画について検討する 第 14 週 倫理審査申請書の作成と倫理審査受審について概説する 第 15 週 前半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する倫理的配慮のポイントについて発表，検討する 後半(教員による講評)まとめ</p> <p>4. テキスト</p> <p>・Nancy Burns, Susan, K. Grove(2009)The Practice of Nursing Research : Appraisal, Synthesis, and Generation of Evidence ; 6th ed. Saunders 参考文献 ・Matthew B. Miles, A. M. Huberman(1994)Qualitative Data Analysis: An Expanded Sourcebook .Sage Publications, Inc. 5. 準備学習：課題の提出</p> <p>6. 成績評価の方法</p> <table> <tr> <td>課題の内容(評価視点:テーマとの整合性，論理的文章構成)</td> <td>20点</td> </tr> <tr> <td>授業中の活動(評価視点:コミットメント，課題探求への姿勢，プレゼンテーションの適切さ)</td> <td>20点</td> </tr> <tr> <td>研究計画書の作成(評価視点:計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載)</td> <td>60点</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100点満点</td> </tr> </table> <p>7. 履修の条件:看護研究方法論(1前)，精神看護学特論Ⅰ(1前)，精神看護学特論Ⅱ(1後)を履修済，あるいは履修中であること。</p> <p>8. その他:特になし</p>						課題の内容(評価視点:テーマとの整合性，論理的文章構成)	20点	授業中の活動(評価視点:コミットメント，課題探求への姿勢，プレゼンテーションの適切さ)	20点	研究計画書の作成(評価視点:計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載)	60点	合計	100点満点
課題の内容(評価視点:テーマとの整合性，論理的文章構成)	20点												
授業中の活動(評価視点:コミットメント，課題探求への姿勢，プレゼンテーションの適切さ)	20点												
研究計画書の作成(評価視点:計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載)	60点												
合計	100点満点												

科目名	専門演習			担当教員：伊礼 優	
科目名(英語)	Seminar in Nursing				
単位数	受講年次	開講予定学期	登録人数	研究室	オフィスアワー
4	1	後期	1～2	看研 18	火曜日・金曜日 7限
1. 授業の概要					
<p>精神看護学特論Ⅰと精神看護学特論Ⅱ，精神看護学分野における研究の動向を踏まえ，学生自身が関心あるテーマに即した研究を進めるための方法について学習する。国内外の論文のクリティークを重ねて，研究課題を絞り込み，適切な研究方法を検討し，研究の背景，文献検討，研究目的，研究デザイン，具体的な研究方法，倫理的配慮などについて学び，研究計画書を作成する。そのプロセスにおいて，適切なフィールドの選定，倫理的配慮やフィールドの十分な記録，適切な分析方法等を検討する。自己の研究課題や研究方法の追及過程については，演習授業において発表し，討議を行う。</p> <p>この専門演習では，精神障害者や家族の支援に貢献することを目的として学習をすすめる。</p>					
2. 到達目標					
<p>①論文読解能力を高め，多様な研究方法を理解する。</p> <p>②精神看護領域における研究課題を発見し，精神看護の向上と発展にどのように貢献できるかを検討する。</p> <p>③研究課題に関して適切な研究デザインならびに研究方法を選択する。</p> <p>④研究課題にもとづき，研究計画書を作成する一連の過程を通して，一貫性・整合性のある研究計画書の作成手順を学ぶ。</p> <p>⑤倫理審査申請書の作成を通して，研究における倫理的感性を高める。</p>					
3. 授業の計画と内容					
第1週 専門演習の授業目的，内容，方法について概説する					
第2週 看護研究，文献検索・講読に関する学術用語および基礎的知識，文献検討による課題の探求方法について概説する					
第3週 学生の文献検索および文献入手方法，図書館にて行った結果を検討する					
第4週 前半(教員による講義)研究デザインについて概説する① 後半(プレゼンテーションとディスカッション)授業目標に沿い，講読した精神看護研究に用いられている学術用語，研究方法，研究内容等について学習した内容をプレゼンテーションし，研究の概念枠組みと研究方法論について討論する					
第5週 前半(教員による講義)研究デザイン構築に向けて概説する② 後半(プレゼンテーションとディスカッション)授業目標に沿い，講読した精神看護研究に用いられている学術用語，研究方法，研究内容等について学習した内容をプレゼンテーションし，研究の概念枠組みと研究方法論について討論する					
第6週 沖縄県に関する精神障害者等の研究論文について討論し，現状の把握や課題を検討する					
第7週 質的研究方法について概説する					
第8週 前半(教員による講義)質的研究方法で用いられるアプローチについて概説する 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する文献の中で質的研究方法を用いた文献における研究方法について検討する					
第9週 統計的手法について概説する					
第10週 前半(教員による講義)統計学的手法について概説する 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する文献の中で量的研究方法を用いた文献における研究方法について検討する					
第11週 前半(教員による講義)研究計画書の作成について概説する 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する研究計画について検討する					
第12週 前半(教員による講義)研究計画書の作成について概説する 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する研究計画について検討する					
第13週 前半(教員による講義)研究計画書の作成について概説する 後半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する研究計画について検討する					
第14週 倫理審査申請書の作成と倫理審査受審について概説する					
第15週 前半(プレゼンテーションとディスカッション)各自の研究課題に関する倫理的配慮のポイントについて発表，検討する 後半(教員による講評)研究計画書作成の実施およびまとめ					
4. テキスト					
<ul style="list-style-type: none"> ・Nancy Burns, Susan, K. Grove(2009)The Practice of Nursing Research : Appraisal, Synthesis, and Generation of Evidence ; 6th ed. Saunders <p>参考文献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Matthew B. Miles, A. M. Huberman(1994)Qualitative Data Analysis: An Expanded Sourcebook .Sage Publications, Inc. 					
5. 準備学習：課題の提出					
6. 成績評価の方法					
課題の内容(評価視点:テーマとの整合性，論理的な文章構成) 20点					
授業中の活動(評価視点:コミットメント，課題探求への姿勢，プレゼンテーションの適切さ) 20点					
研究計画書の作成(評価視点:計画書の内容，研究方法の妥当性，倫理性への配慮の記載) 60点					
合計 100点満点					
7. 履修の条件:看護研究方法論(1前)，精神看護学特論Ⅰ(1前)，精神看護学特論Ⅱ(1後)を履修済，あるいは履修中であること。					
8. その他:特になし					